

ベルギー中学生海外交流事業の概要

事業の目的

この事業は、中学生を南房総フラワーマーチとベルギー・ツーデーマーチが姉妹提携を結んでいるブランケンベルグ市へ派遣し、友好親善及び国際理解を深め、国際的感覚を備えるとともに、次代を担うにふさわしい人材を育成することを目的としています。

派遣者人数と日程

生徒8名、引率者2名。【派遣期間】8月7日～15日、【受入期間】8月16日～24日

派遣補助金

参加する生徒の渡航費用（燃料、サーチャージ等を含む航空券代）の半分を、最大20万円を上限に市が補助します。

市（教育委員会）の役割

当該事業の実施にあたり、主に次の業務を行います。

- ・派遣者の募集と選考
- ・航空券手配と補助金手続き
- ・派遣および受入に向けての説明会（保護者と生徒）と勉強会（生徒）の企画と開催
- ・派遣および受入行事の企画と実施（引率）
- ・ベルギー・ブランケンベルグ側団体との調整・連絡

ベルギー王国

ベルギー王国は、西ヨーロッパに位置する連邦立憲君主制国家です。欧州連合（EU）の加盟国で、EU本部はベルギーの首都ブリュッセルに置かれています。国土は約3万kmで日本の四国の面積の約1.5倍程度か関東地方（1都6県）よりやや広く、人口は約1,100万人で、人口密度は日本よりやや高めです。気候は温暖な海洋性ですが、緯度が高いため、夏でも平均最高気温が23℃程度、湿度も低く、日本に比べてとても涼しく、時に寒いくらいに感じる場合があります。そのため早朝や夕方は長袖の上着が手放せません。また年間を通して曇りが多く、天気が変わりやすいのが特徴です。公用語はオランダ語、フランス語、ドイツ語で、北部のフランデレン地域ではオランダ語（ベルギー方言のフラマン語）が、南部のワロン地域ではフランス語が主に使われています。そして多くの人が英語での日常会話が可能です。

ブランケンベルグ市

人口約19,000人、面積17.41km（旧白浜町と同じくらい）のベルギー北部の北海に面する海辺の町です。過去（18世紀から近年にかけて）は漁業が主要な産業でしたが、現在（1955年以降）は観光業にシフトしており、海岸線にリゾートホテルが林立するオーシャンリゾートタウンとして、夏はヨーロッパ中から多くの観光客が訪れ、ピーク時には人口が約10倍にもなると言われています。街の名前のブランケンは白、ベルグは山を意味し、ビーチに堆積した大きな砂の丘に由来します。南房総フラワーマーチと姉妹大会のブランケンベルグ・ツーデーマーチは毎年5月の第一土、日曜日に開催されます。

ベルギー側の運営組織

ブランケンベルグ・ツーデーマーチ実行委員会内の南房総・ブランケンベルグ友好グループが実務を担っています。日本でのNPO法人のような団体で、メンバーはボランティアで構成されており、多くの方が日本に対し興味を持っており親日的です。

ベルギーでのプログラム

ベルギー国内（主に北側のフランダース地方）の主要都市を訪問し、13～16世紀に建てられた歴史的な建造物を見学しながら、ホームステイ先の生徒や家族と英語でコミュニケーションし、異文化交流を体験をします。

主な訪問先としてブリュッセルやアントワープ、ブルージュなどがあります。ブリュッセルはベルギーの首都ですが、同時にEU本部を置くヨーロッパの中心的な国際都市です。アントワープは「フランダースの犬」の舞台になった町で、クライマックスシーンのノートルダム大聖堂とルーベンスの祭壇画は実物が見られます。街全体が世界遺産登録された運河の美しいブルージュは、国際貿易都市として中世ヨーロッパでパリに並ぶほど発展しました。その他に、第一次世界大戦で戦火に巻き込まれナチスに侵略されたイーペルなど、小国ながらも中世から近代ヨーロッパの歴史に大きく携わったベルギーで、ヨーロッパ全体に触れることができます。

また国境のないヨーロッパらしく、車で20分ほどで隣国のオランダへ、2時間あればフランスやドイツへと足を伸ばすことができます。各家庭で自由に行動するホストファミリーデーでは、毎年パリやオランダに連れて行ってもらったという生徒の声も聞きます。日没の時刻が遅く（21時以降）、またバケーション期間中ということもあり、朝はゆっくり始まり、夜も比較的遅くまで外で過ごすことが多い傾向にあります。宿泊はホストファミリー宅でのホームステイで、食事も各家庭でお世話になります。これら食事と住居及び見学時の交通費等の経費は、全てベルギー側の団体及びホストファミリーが負担します。現地で生徒たちが必要とする経費は、個人的なおみやげ程度です。

日本でのプログラム

市内では海水浴やマリナクティビティ、公民館調理室などでの昼食作り、歓迎レセプションなど行います。また東京方面の日帰り旅行を2回、日光または箱根方面への1泊2日旅行なども予定しています。これら経費のうち、団体行動に必要な交通費や施設入場料などは主に市が負担しますが、食事などは受入するベルギー生徒の分を含めて各家庭での負担となります。また、ベルギー生徒の宿泊先もベルギー同様、各家庭でのホームステイとなるため、家族全員で異文化体験と交流ができます。